

新しきトシニ抜けて阿蘇五岳 錦秋を生き、未来へ進む

10周年+1阿弥陀寺あれこれ(島根県の巻)

江戸時代、無住ではありませんが阿弥陀堂と称して存続してまいりました。その後、屋号「浅ヶ迫」、佐々木家の出である大谷洗十郎に受け継がれ「金剛山阿弥陀寺」と命名し建立。洗十郎は得度、法名「釋洗心」、初代住職となりました。

本堂解体法要

平成7年2月21日



平成7年、老朽化の激しくなった本堂を解体。現在の小堂に建て替え、東京別院西徳寺(当時)から宮殿を譲り受け、ご本尊を安置いたしました。平成12年、小堂建立の落慶法要を厳修しました。近隣の集落からたくさんのお参りをいただき、祝福に包まれた法要になりました。



本堂落慶法要

平成12年6月24日



ご参詣の方々



法話



お斎



台所



年末大掃除中の筆者

「御修行奮闘記」
釋博真(栃原真人) 第32回

今年の秋、義理の祖母が亡くなりました。早朝、血圧が上がったと連絡があり、家族で施設に向かいました。意識はなく、目を閉じ、肩で息をしていました。私これが最期になるかもしれない、と思いつつながら帰宅しました。夕方、今亡くなった、と電話がありました。施設に戻ると、同じ向きで横になり、呼吸のとまった祖母がいました。朝まで生きていたのに、夜には動かなくなりましたが信じがたく、悲しくなりました。いつか自分にもその日が来るのか、と空しさも感じました。

通夜は悲しみの中にも、明るい雰囲気がありました。少し風変わりな感じの方。東京の美大を卒業され、画家の道を歩まれたのですが、しばらくして熊本に帰って来られたのです。店は住宅街の真ん中にぽつんとありました。ドアを開けると大音量のジャズ。薄暗く、狭い部屋に大きなJBLのスピーカーから、大音量のコールトレンが流れていました。客がいない時は、マ

2020年
唐草サ行(大木歌子) 句会組
熊日短歌大会入選歌
幾度の天災にも負けず支え合う人間のしなやかさを感じたこの一年、念願の阿蘇へのタイムはまるで未来へ向かうタイムトネルのようです。熊本弁の「できるしこタイ」を、心の糧に来年も前進しましょう。



マイブームはボウリング

必ず亡くなるのだと知らされて、今という時が輝くのだ、と教えられました。

皆様、こんにちは。総代のつばやき 35
総代の森雄二です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂し、青春時代を回想し、ひと言つばやきたいと思えます。どうぞお付き合います。



ゆかいな筆者(右)と信侶

『肥後山中膝栗毛』 釋智明(川村智明) 第11回

昨年11月、コロナ禍での運動不足を解消したく、九重連山の一つである久住山に登りました。

そこは想像よりも険しく、徐々に足が痛くなり、寒さが厳しくてつらい思いが増していきました。道中、園児の行列とすれ違いました。私は「つらくないのかな」と思って

子どもたちを見ると、笑顔ではしゃいでいました。「疲れてない」と訊くと、「全然、たのしい」と返ってきました。同じ山登りでも感じ方に大きな違いがありました。

今、世間では自粛が求められ、落ち込んだ雰囲気にもそうした状況下、仕方がないとあきらめる癖がついていたことに気づかされました。私も子ども



闘つ筆者

の頃は、何ごとも「どうすれば楽しくなるか」とプラスに考えていたことを思い出しました。

マスターは物静かで、少し風変わりな感じの方。東京の美大を卒業され、画家の道を歩まれたのですが、しばらくして熊本に帰って来られたのです。店は住宅街の真ん中にぽつんとありました。ドアを開けると大音量のジャズ。薄暗く、狭い部屋に大きなJBLのスピーカーから、大音量のコールトレンが流れていました。客がいない時は、マ

マスターと3人でよく飲んだものです。毎年恒例、熊本大学祭で、ジャズ研のライブに店の常連、Mさんが酔った勢いでテナーサクスを脇に抱えてステージに飛び入りし、アルパートアイラー風に吹きまくったという話を聞いて、皆で大笑いしたものです。しかし、いつのまにか店は閉じてしまいました。数年前、知人のマスターから元気だと教えて頂き安心しました。

生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部
漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書(実用書道)

生徒部
幼児・小中学生
各学年(毛筆・硬筆)

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン(家族・親族の安心プラン) 30万円より
他のプランもごさいます。以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)
益城町宮園547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.com

報恩講ご案内

報恩講は、親鸞聖人のご法事です。

日時・1月10日(日曜日)

1時00分〜読経
1時30分〜法話2席

〜3時00分終了

法話・大谷義文(阿弥陀寺)

講題・「暮らしの中の仏教」

「コロナウィルス感染防止のため、お斎はございません。終了後、感染予防をして、茶話会を予定しています。」

春季 差向け布教

納骨堂 追弔法要

永代経 法要

日時・2月22日(月曜日)

午後1時30分 お勤め(読経)
2時00分〜法話2席〜3時30分終了

法話・大谷義文(本山布教使)

阿弥陀寺

※ 京都、本山佛光寺から差向けられました布教使によるご法話です。

平日ではございますが、お参りお待ち申し上げます。

納骨堂加入者に限らずどなた様も、お参り、聴聞、参加いただけます。

猫伏石の声
令和3年法要
寺子屋予定

○報恩講

1月10日(日) 13時〜

法話 大谷義文

(阿弥陀寺)

○差向け布教

2月22日(月) 13時30分

法話 大谷義文

(阿弥陀寺)

○春彼岸会

3月20日(土) 13時30分

「精神科医と
能楽師と読む

『観無量寿経』

安田登 師(能楽師)

大島淑夫師(精神科医)

○寺子屋

5月23日(日) 14時〜

安田登 師(能楽師)

○法話の会

6月13日(日) 14時〜

法話 川村智明

栃原真人

大谷義文

○おばけ合宿

開催を見送ります。

○秋彼岸会

阿弥陀寺

10周年 記念法要

9月25日(土) 13時〜

記念法話リレー

布教使 はがみちこ師

(岡山・正覚寺)

中井賢隆師

(大阪・最勝寺)

大谷義博

(阿弥陀寺)

○法話の会

10月24日(日) 14時〜

法話 川村智明

栃原真人

大谷義文

○寺子屋「語りの秋」

11月3日(水) 14時〜

安田登 師(能楽師)

玉川奈々福師(浪曲師)

沢村豊子師(曲師)

○寺子屋「歳暮の会」

12月26日(日) 14時〜

安田登 師

葬儀・祭壇

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848